

第6期 第1回 国立市自立支援協議会全体会議事録

【日時】 令和5年（2023年）3月13日（月） 午後6時00分～午後8時00分

【場所】 国立市役所3階 第1・2会議室

【出席者】

（敬称略）

委員氏名	所属	分野	備考
堀江 まゆみ	白梅学園大学 子ども学部発達臨床学科	学識経験者	オンライン参加
北本 雅子	当事者・家族	市民代表	
芳賀 弘幸	当事者・家族	市民代表	
新井 ゆみ	国立市医師会	医療関係者	
松田 周平	国立市社会福祉協議会	福祉関係者	
星野 大輔	当事者・家族	しごと部会代表	
ふるはた 眞幸	たまぶらねっと	地域交流部会代表	

※傍聴者 2名

【事務局・・・各部会】

（敬称略）

氏名	所属	分野	備考
奥迫 真理恵	多摩棕櫚亭協会なびい	しごと部会事務局	オンライン参加
山地 圭子			
白川 加世子	かいゆう 相談支援エプシロン	あんしん部会事務局	
篠原 由美	福祉サポートライン ・ くにたち	当事者部会事務局	オンライン参加
中根 英樹			
市川 享吾	たきのがわがくえん 滝乃川学園 相談支援センターみなも	ちいきこうりゅうぶかいじむきょく 地域交流部会事務局	
鈴木 サエ			
小池 誠			

【事務局・・・しょうがいしゃ支援課】

氏名	所属・役職等
関 知介	課長
長田 健	手当・給付係長
関根 義矢	相談支援係長
石川 隆一朗	相談支援係主査
齋場 久	相談支援係 当事者部会担当
真野 学	相談支援係 しごと部会担当
吉川 直澄	相談支援係 しごと部会担当
山下 紀子	相談支援係 あんしん部会担当
岩崎 智美	相談支援係 地域交流部会担当

【事務局（関）】 これからいらっしゃる委員の方もいるかもしれませんが、あと、堀江先生がお仕事

で海外にいらっしゃるということで、つながらないところもあるかもしれませんが。接続しましたら、

御挨拶をいただければと思いますので、それまで事務局のほうで進行させていただければと思います。

よろしくお願いいたします。

次第1の挨拶は、堀江先生に来ていただければと思います。と考えてございます。

まず、資料を机上にお配りしておりますので、資料の確認からさせていただければと思います。

まず、1枚目、A4の会議次第を御用意させていただいております。2枚目が、本日の委員名簿で

す。それから、地域交流部会の活動報告を入れさせていただいております。A4縦、しごと部会の資料

です。それから、資料1として、自立支援協議会体系図（案）のたたき台です。資料2として、個別

課題の抽出シートです。資料3として、令和4年度から令和5年度のスケジュールイメージについ

て（案）になります。

本日配付しております資料については以上になります。足りないものはございますでしょうか。あ

りましたらお申し付けいただければと思います。よろしいでしょうか。

今オンラインで参加いただいているのが、なびいの方、それからC I Lの方ですけども、音は届い

ておりますでしょうか。届いていない方がありましたら、御確認いただければと思います。よろしく

お願いいたします。

それでは、次第に沿って進行をさせていただければと思います。

議題2の①令和4年度の専門部会の活動報告になります。令和4年度の専門部会の活動報告を

かくぶかい おも
各部会からいただければと思います。

それでは、ちいきこうりゅうぶかい ごほうこく にゆうりやく ねが
地域交 流部会から御報告いただいてもよろしいでしょうか。マイク入 力をお願いしま
す。

ふるはたいいん ちいきこうりゅうぶかい ふるはた ごほうこく ちいきこうりゅうぶかい こんねんど
【古旗委員】 地域交 流部会の古旗です。御報告させていただきます。地域交 流部会は、今年度4

かい けいしき おこな さくねんど ちいきこうりゅうぶかい とりくみ すこ ごせつめい
回、ハイブリッド形式で行いました。昨年度の地域交 流部会の取組から少し御説明させていただきます。
ます。

さくねんど ぎちょう ほりえせんせい ごきょうりやく もと しゅかいでき お つみ と
昨年度は、議長の堀江先生の御協力の下、社会的なトラブルを起こしたり、罪に問われたしょうが
いを持つ方について、くにたちしな い じっだいちょうさ ほりえせんせい けんきゅうひ かつよう
国立市内の実態調査をするということで、堀江先生の研究費を活用させていた
だいて、しな い しよ じぎょうしょ と けっか もと こんねんど
市内90か所の事業所にアンケートを取りました。その結果を基に、今年度どうしていくか
ということに取り組みました。

だい かいめ ちいきこうりゅうぶかい よさん けっか こうえんとう
第1回目については、地域交 流部会として予算がついていないので、この結果を講演等をしたいと
い はなし で ころえん よさん はなし あ さいど ほりえ
話 が出たのですが、なかなか講演する予算がないということで話 合ったところ、再度、堀江
せんせい せんせい けんきゅうひ なか よさん た か のう はなし
先生から、先生の研究費の中から予算立てすることも可能ですというお 話をいただきながら、どうし
ていくかというのをと ぐ
取り組んできました。

だい かい こんご ほうこうせい ちいきこうりゅうぶかい ほりえせんせい けんきゅう
第2回については、今後の方向性として、まず地域交 流部会として、堀江先生がずっと研究とし
てと ぐ ぐたいてきないよう
取り組んでいらっしゃるキーブセーフということについて、まず、どういった具体的内容なのかと
い しい し はなし で わたし し ご だい だん しえんしゃ
うのを知りたいねという 話 が出て、まずは私 たちが知って、その後、第2弾として、支援者のア
ンケートをと しな い じぎょうしょ かた しえんほうほう かんが かた
アンケートを取った市内の事業所の方に、こういった支援方法だったり、こういった考 え方があるんだ

というような場をつくれたらなということと、第3弾として、その先にいる市民の方にお伝えできた
らなというのが、第2回の方向性として話し合ったところでした。

第3回に、第2回で話し合ったまず私たちがキープセーフという取組をしようということで、
滋賀県で実際キープセーフの取組をされている方2名の方をお迎えして、研修をオンラインでしてい
ただきました。実際、その中で、例えば放課後デイ等で、お子さんが性的なトラブルに巻き込みやす
いとか、実際犯罪に近いことに手を染めてしまっているというような、支援者としてどう関わったら
いいんだみたいなことも事例として挙がってきていました。

第4回になるんですが、今後どうしていこうかというところで、ちょっと地域支援協議会自体が体系
変更になる可能性がありますよというところで、地域交流部会は今後どうなるんだみたいな感じで終
わったというところであります。

だれ ほか
誰か補足を。

【北本委員】 しょうがいしゃ家族の人とか、しょうがいしゃに関わるお仕事されている方の中
でよく耳にしたのが、しょうがいしゃの子が犯罪の意識が希薄で、これを言ったらセクハラになるとか、
そういうことがまだ分かっていない子どもたちもいますし、これに関わるとだんだん犯罪に関与して
いってしまうとか、そういう本当にふちにいる子どもたちに対して、職員さんはやっぱり真面目
に勉強してきた方なので、芽を摘むやり方とかも御存じない方もいらっしゃるんで、みんなで考
えていこうというお話で、結構職員さんが胸に秘めていた悩みを少しフォローすることによって、
職員さんも考え方がオープンになっていくし、プラスになっていくということでもいいんじゃないか

なということでやっていきました。

まだ本当に暗中模索状態なんですけれども、堀江先生の考え方、研究されている内容がとてすばらしいので、その辺に引っ張ってってもらっている感じです。地域交流部会としては本当に初めの一歩なんですけれども、アイデアをみんなで出していこうということで、前向きな会の終わりにはなったかなと思います。

【事務局（関）】 地域交流部会の御報告、ありがとうございます。各部会から御報告いただいた後に、御意見とか御質問をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは続きまして、資料をいただいておりますので、しごと部会から御報告をいただければと思います。よろしくお願い致します。しごと部会の担当の方から御報告いただければと思います。よろしくお願い致します。

【星野委員】 今年のしごと部会が、2月14日の火曜日に1回目を行いまして、おしごと点検総括案について、事務局 長より、おしごと体験者数を集計し、完成版を3月の自立支援協議会の全体会に提出、報告予定です。全体会参加委員は立候補4人により、星野氏に決定しました。

意見交換、情報交換、しごと部会、おしごと体験を通じてできたネットワークについては、形は変わりますが、今後も継続していくおしごと体験に関しては、今後は国立しょうがいしゃ就労支援センターが習熟を見ながら継続していきます。国立しょうがいしゃ就労支援センターのみで、地域開拓や受入れ作業所を行っていくことは困難であるため、今もしごと部会で培ったネットワークを生かし、各事業所などには協力を依頼することです。当事者の多様な働き方を応援していくため

にも、しごと部会の参加者を中心とした仕事、就労に関わる事業所同士で定期的な集まりなどを行

って行く予定です。3月の自立支援協議会全体会に参加する委員は、立候補で星野氏に決定、その他

告知など、しょうがいしゃ就労支援センターの企画紹介について、吉川さんよりお願いします。

【事務局（吉川）】 星野さんと同じく、しごと部会の委員をしていますしょうがいしゃ就労支援セ

ンターの吉川と申します。

今年度は、しごと部会は2月14日に1回だったので、今、星野委員が報告してくださいました。

しごと部会としましては、今日、皆様のお手元にお配りしたおしごと体験というのが、部会が始まっ

て以来のやってきたことの1つの成果となっていて、始まってもう七、八年、動き始めてから七、

八年たっていて、4年目、5年目ぐらいから大分軌道に乗ってきたところがあるので総括をしま

しょうというところで、総括をしたのがこちらのプリントに書いているところです。

2ページ目に、どんな方が、どこでどれだけのことをやってというところで、件数としては書かれ

ていますけれども、この部会においては、そもそもこの地域の課題というところできり組んできたと

ころなんですけれども、その中では1ページの真ん中よりちょっと上のところに書いたんですけれど

も、気軽に仕事を体験できる仕組みがあったらいいですか、それから、支援者からどうやったら支援

が届くのかといった意見、そして、平成18年の自立支援法の施行以降、以前はあった社会資源の緩や

かな横のつながりが分断されてしまっているという、そんな課題が当初あって、いろいろ皆さんで議論

を重ねてこういった形になったということです。

それで、最後のページに、まとめとして書きましたけれども、このおしごと体験の仕組みは、何か

こてい せいど だと しゅうろうけい ふくし りよう じぎょうしょ かた しせつがい くんれん
固定の制度ではなくて、例えば就労系の福祉サービスを利用している事業所の方が、施設外の訓練と

かたち りよう くんれんちゅう かた きゅうしょくちゅう かた しょくば じっしゅう りよう
いう形で利用したりとか、あとは、訓練中じゃない方が、求職中の方が職場の実習として利用し

とくべつしえんがっこう がくせい さんぎょうげんばじっしゅう りよう
たりですとか、特別支援学校の学生さんが産業現場実習として利用したりという、そういういろい

せいど わく たよう かたがた はたら かた おうえん りねん
ろな制度の枠はあったんですけども、1つちょっと多様な方々の働き方を応援するという理念とい

かたち すす せいど わく なか たいけん ば
うか、そういう形で進めていって、いろんな制度の枠の中でこういう体験をする場ができたというこ

ころです。

ただ、いわゆるしょうがいしゃという診断がない方が、ないけれども同じような悩みを抱えている

かた た た かた たいけん ば ひ つづ
方も多々いて、その方たちのこういう体験ができる場がつかれなかったというところが、引き続きの

かだい かん
課題として感じています。

こんかい ぶかい かいお ぶかい のこ かだい
それで、今回、部会が1回終わりになるということなんですけれども、この部会で残った課題のと

たいけん し く うご し しゅうろうしえんじぎょう
ころと、それから、しごと体験の仕組みをそのまま動かしていくところは、市のほうで就労支援事業

し しゅうろうしえんじぎょう
をやっているんで、そちらはバトンタッチをしてやっていくと。ただ、市の就労支援事業だけではで

ちいき みなさま ひ つづ きょうりょく そうかつ
きないので、地域の皆様にも引き続き協力していただきながらやっていくということで、総括にな

っています。

さいご しゅうろうしえん きかく がくしゅうかい はな
最後に、就労支援センターが企画する学習会というお話しをしましたけれども、それはちょっと、

こんかい ぶかい ふくし せいど の はたら たいけん
今回の部会のまとめのところで、なかなか福祉なりの制度に乗らなくて、なかなか働く体験ができる

ば かた かだいかん ひごろ かたがた しえん おお と
場がない方ですとか、そういったところの課題感もあったので、日頃そういった方々の支援に多く取り

く かた よ がくれいき しえん はなし われわれ せいじんき
組んでいるたすくグループの方をお呼びして学齢期の支援の話をしていただいて、あと我々が成人期

の支援、就労支援をしているので、その辺をお話して、企画して、意見交換をするということで、

意見交換のほうも、学習会ということですが、皆さん、地域の方に参加いただいて意見を出し

ていただいて、それをこれからの市の施策とかに反映していけるような学習会にしたいと考えているところです。

チラシを置いておきますので、帰り際にでもよろしかったら持って行ってください。

【事務局（関）】 しごと部会の報告、ありがとうございました。

そうしましたら、続いては、当事者部会の御報告をいただければと思いますが、これは支援者さんから御報告をいただいてもよろしいでしょうか。

【事務局（篠原）】 よろしくお願ひします。当事者部会は、今年度、10回の部会と1回の市の職員

に対する研修を行いました。コロナ禍で集まらない間に、人が代わったメンバーもいまして、なか

なか研修に出られる当事者がいなくなってしまうということもあって、部会メンバーも募集をし

て、声をかけて、1人増やしました。聴覚しょうがいの女性の方が参加していただきました。その方

の参加も入れて、1月13日に、合理的配慮とは何か当事者と学ぶという研修を市の職員に向けて行

いました。

このときの市のほうの参加者が合計21名。職員の数には14名で、その中で支援課の方が4名、事業者

の職員が1名。事業所の職員と当事者の方は、自分たちも勉強したいということで、傍聴と

いうか、見ているだけですけれどもという人たちで、参加してもらいました。

内容は、障害者差別解消法と権利条約についての説明と、国立市のあたりまえに暮らすまち宣言

はなし お話、あと、実はこの研修に前もって市職員の各課に事前アンケートを行いました。しょうがい

かた き しゃの方が来たときに困ることは何ですかとか、そういうことで事前アンケートを行いました。その

なか おお 中は多くは、困っていることが何だか分からないとか、どういうふうに声をかけたらいいか分からな

いとか、そういう質問が多くあったのですが、そういう質問を受けて、後半はインタビュー形式で、

ぜんいん じっさい 全員が実際アンケートでもらった質問に、数は少ないんですけども、答えていくという形式を取り

ました。1時間半を過ぎてしまったんですが、受講してもらった方々から、感想のアンケートをもら

っています。

いちおう わ 一応、よく分かったという方が13名、まあまあ分かったが2名いました。アンケートの中では、

インタビューのときに、しょうがいのある人を目の前にすると引いてしまうとか、そういう質問もあ

ったんですが、それに対して、そういうことを聞くと、しょうがいを持っている側も、ちょっと傷つ

きますみたいな、本音の話なんですけれども、職員も直接会ったり、しょうがいのある人に初めて

せつ 接しながら、それが当たり前であることなんだという話も、感想に書いてあったりして、こちらも本音

こた で答えたけれども、感想にも本音で書いてあって、その辺は勉強になったところもあります。そのほ

かに、アンケートは、こんご つづ 今後も続けてほしいとか、実践の話をもっとそういう機会があればいいとい

うアンケートもありました。

かた じぶん はな やった方たちも、自分のことを話すと、そういう機会にもなったし、やっぱりみんないろんな人に

しょうがいの話を分かってほしい、聞いてほしいというのもあって、こんご どうやってこの研修を

つづ 続けていく方法があるかというところで、いま もさく 今、模索しています。

【事務局（関）】 それでは、当事者部会の報告、ありがとうございました。

それでは、もう一つ、あんしん部会の御報告ということになるんですが、これは市の事務局からさせていただければと思います。

あんしん部会につきましては、新しい活動を今年度については行っておりません。ヘルプカードの普及ですとか災害対応ですとか、そういったことをやりながら、新たな検討というのはまだできていないというところになります。それも含めて後段のところでご説明する自立支援協議会の見直しなんかも今年度図っておりましたので、そのところでまた改めて、今後どうしていくかというところは御報告させていただければと思います。あんしん部会の報告は、今年度活動がなかったという御報告になります。

今、それ以外の3つの部会につきまして御報告をいただきましたので、その部会の御報告に対する御質問とか御意見などがあればいただければと思うんですけれども、皆さんいかがでしょうか。

オンラインで聞いている方々からも、何か御意見とか御質問あればいただければと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、松田委員、お願いします。

【松田委員】 御報告ありがとうございました。その中で1点、もしかすると後段に関わってくるのかもしれないですけれども、何部会か忘れてしまったんですが、部会自体が今年で終わりというようなお話があったかと思うんですけれども、何かその辺の背景が私はよく分かってなくて、部会さんから、事務局さんから分からないんですが、御説明いただけると。多分ほかの皆様もその辺をも

しかすると御存じない方がいるのかなと思ったので質問させていただきました。

【事務局（関）】 後段の見直しのところで詳細は触れさせていただこうと思っているんですけど

も、今までの4つの部会、地域交流部会、しごと部会、当事者部会、あんしん部会と4つ部会で事務局

がそれぞれ入って活動をしていたところになりますけれども、それぞれところで様々な活動をしなが

ら、今言ったように、新たな活動につながっていないところもありましたので、事務局会議のほうで

確認をして、部会の在り方の見直しを令和4年度かけて、それぞれの部会で活動いただいているとこ

ろと並行して進めさせていただいております。

その辺のところを、議題②で御説明したいと思いますが、部会に代えて、ワーキンググループのよ

うな形を今考えております。ワーキンググループにするにはどうすればいいかという課題について

は、地域の中からいろんな方にいろんな御意見をいただいて、それを新たな課題にして、それをテー

マにした議論ができるような形を今考えているところになります。それについては、議題の②で改

めて御説明を差し上げたいと思います。

よろしいでしょうか。

【北本委員】 おしごと体験の総括が、すごくきっちりとパンフレットができていてすばらしいなど

思って読ませていただきました。おしごと体験で受け入れた事業者さんの声とかも、少し感じる場面も

あるんですけども、こちらを通して就職には至らなかった感じですか。

【事務局（吉川）】 おしごと体験を受け入れたところかどうかということでしょうか。

【北本委員】 まだ体験で終わっていて。

【事務局(吉川)】 受け入れた会社とかでの雇用につながらなかったかと。それでいいますと、利用者の内訳を見たときに、こちらのまとめには書いていないんですけども、就労継続支援のB型、A型、それから就労移行支援の事業所に日頃通所している方がほとんどだったんですね。そのような関係で、就職に向けていろいろ活動だったりしている最中の方が利用したケースが多かったので、直接というのにはあまりつながらなかった。

ただ、NHK学園さんでは、おしごと体験を何件か受け入れて、それでその方たちの仕事ぶりなんかを見て、その中でもお給料を払って大丈夫なぐらいな仕事をしてくれる方もいたので、じゃ、アルバイトの方も募集しましょうということで、何人かはアルバイトの採用、雇用にもつながっています。

【北本委員】 よかったですね。やっぱりA型、B型に通われているけれども、就職まで行くことがないし、アルバイトもしたことがないから、やっぱりしょうがいしゃ当事者の方とかは不安があると思うんですね。1人でしばらく通うということに対して。例えば3か月とか1か月でもいいですから、ちょっと職員さんがサポートとか、最初の1週間、2週間、一緒に通ってあげて、だんだん慣れてきたあたりで、自転車で1人で走れる子になったみたいな感じで見守るみたいな形でなっていくといいなと思いながら聞いていました。

それと、だから、本当に根づいてきている感じがして、そういうのもうれしいですね。

【事務局(吉川)】 さっき言ったように、日常的に就労の訓練とかに通っている方が、職員の方なんか3か月間ぐらいついてくれるような、実際につくかどうかあれですけども、イメージとして

は、仕事を探している方に寄り添って就職から就職後のところまで見るというのがあるんですけども、そこはあるにはあるんですけども、やっぱり外で初めて出てやるというときに、こういう場所があるといいなというところと、そこにもやっぱり職員の方が付き添ってやってくれるという、サポートしながらやっていくような、そういう日常的にあるしょうがい福祉サービスの制度と一体となつてうまく活用というか、回ってくといいなとは思っています。

【北本委員】 会社も8時間いてほしいわけじゃなくて、例えば3時間とか、本当短い期間で、例えばタオルを重ねるだけの仕事ですとか、ちょっと簡単なんだけど、社員やアルバイトがやるにはすごく負担になる量の仕事ってあるんですよ。例えばホテルのタオルを畳んで置いておく係とか、そういった部分の仕事を見つけていく作業もこれからあると面白いのかななんて、事業者さんと相談しながら見つけていって、しょうがいしゃの方にも、片手間なお仕事で、最初体験という形でやっていってもらえたらいいのかななんて思って、前向きに見させていただきました。ありがとうございます。

【事務局（吉川）】 前向きに考えたいと思います。94名の方がこれを利用されているんですけども、受け入れたところが4か所というのだと、ちょっとやっぱり少ないなというところなんで、もうちょっとたくさんの方に受け入れていただけるように、企業さんに声をかけたりとかということをはしたいと思います。

【北本委員】 地域交流部会の中でもやっぱり話が出てきて、少しだけでも自信がしょうがいしゃの中であると、少し前に進んでいくと。しょうがいしゃが明るくなってくると、家族も救われるとい

う、どんどんどんどんいいことが増えていくので、それぐらいになるといいなと思いましたが、ありがとうございます。

【事務局（関）】 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

【松田委員】 今しようがいしゃ部会の実習先で、社協もぜひ使っていていただいて、今使っているんですか。あまりないんですか。

ぜひいろいろなお仕事自体はある、作業があると思いますので、今後おっしゃっていただければと思います。それが1点です。

あと、地域交流部会のキープセーフの考え方というところで、今後市民という話もあったんですが、私はあまり不勉強で、どういう概念というか、どういうものなのか、もし教えていただけるとありがたいなと思いました。

【古旗委員】 ちょっと説明が足りなくて申し訳なかったです。手元に資料がなくて概略しか御説明できなくて申し訳ないんですが、キープセーフ自体は、例えば物をどうしても取ってしまう利用者さんがいて、それはコンビニとかお店もそうですし、施設内でも、ほかの人のを取ってしまう。そうすると、スタッフが「これは駄目でしょう」と言うと、「分かりました」言うけれどもまた同じことを繰り返してしまう方は、これは小さなことですが、いろんなことが市内には起きている。ということ、支援の介入の方法が間違っているだろうと、もっと適切な介入をすれば、「すみません、ごめんなさい」と言って、その人が自信をなくしてまたやってしまうという、悪い循環を変えられるのではないかというところからスタートしています。

キープセーフ自体は、イギリスでそういったしょうがいを持った方の支援で効果があるという実証

研究があるものを堀江先生が日本に持ってこられて、日本で広めようとしているんですが、基本的

には、罰して何々しちゃいけないというものではないんですね。やり方として、グッドウェイモデル

とって、どうしたら自分の人生はよく生きていけるだろうかみたいなのところからスタートするんで

す。例えばY字の道があって、そのYの分岐点ときに、どちらにどう進んだら自分はグッドウェイの

人生を歩めるかみたいなのを、とても丁寧に視覚とかを通してながら、グループワークでつくっていく

ものなんですね。

その中で、感情の温度計とかを使って、何かを盗みたいと思ったとき、心臓がばくばくして、感情

が高ぶっていると、今、何度とか、とても丁寧に自分の状況が分かるような仕組みを支援の中に

とく取り組んでいく。それで、例えばこれは黄色信号だよとか、赤信号だよとか、そういった中で、主

に知的的のしょうがいを持った方へのアプローチなんですけれども、そうやって視覚で見えるようにし

ていくとか、あと実際その場を演じてみるとかをやっていくんですね。

キープセーフのためには、トレーナー研修を受けるんです。支援者側がそれをやるにはトレーナー

研修を受けなきゃいけないんですけれども、まずそういったものを、市内でもキープセーフをできる

人を育てていけたらいいんじゃないかみたいな話をしていたところではあるんです。

【北本委員】感情とか、何で盗むかと聞くと、健常者の人、例えばお友達とか、健常者の人、見

てくれがきれいな人、どうやっても勝てない人というのがあるかと思うんです。普通の人は、別にそ

こでライバル意識をせずに、自分を磨くとかプラスの方向に行くんですけれども、しょうがいしゃの

かた 方は、どうしてもいらっと来たときに物を盗む、その嫌いな、嫌だなと思った感情の人のものを盗む
んです。それで一瞬だけ彼女はすっきりするんです。でも、その後、また罪悪感も発生している。
それがどんどん絡んでいくような状態になっていて、そこで盗みたいと思った気持ちのときにY字に
なっていて、こっちに行くといい道だと、カードでも、先生と話し合っても思っているけれども、
この赤信号のほうにどうしても行っちゃうところがあるんですね。

そういう子たちと私も以前仕事をしたことがあって、すごく仲よくなれば仲良くなるほど、ふっと
したときに盗まれるんです。それも、たわいもない、ハンカチですとか、缶コーヒーとか、大したこ
とがないものが盗まれるんです。でも、それは彼女にとってやっぱり嫌だった。ちょっと頑張っても
私にいらっときてしまった。近しくなればなるほど、憧れだったり、ちょっと嫌だなとか思う感情
がどうしても出てきてしまうんですね。それに対する対応ができない。そういう子たちは結構多い
んですね。そういう子たちの気づきになっていくようなプログラムをしていけたらいいんじゃないか
など。

かか 関わるスタッフさんも、ここまで仲よくやってきていたのに、どうして盗むんだろうとか、二重三重
にスタッフの方が傷ついていっちゃうんですね。それが随分と変わってくるんじゃないかということ
で、堀江先生がイギリスで学んだことを皆さんに教えてもらっている感じです。

まつだいいん
【松田委員】 ありがとうございます。

じむきょく せき
【事務局（関）】 よろしいでしょうか。ほかにいらっしゃいますでしょうか。

きたもといいん てん ぶかい やす じかい はつげん
【北本委員】 あと1点だけいいですか。あんしん部会さんがお休みだったということで、次回、発言

するのかわからないんですけれども、ちょっと情勢的にも不安が伴うことが多いので、例えば地震があったとき、戦争が近づいたとき、例えば紛争何か場合とか、そういうのをある程度想定して、公園のベンチの蓋を取ると煮炊きができるような台にするとか、そういった小さいことであんしん部会、例えば避難経路をしょうがいしゃの人に分かりやすくする訓練なのかわからないんですけれども、それはもうやられているかと思うんですけれども、弱者、ベビーカーのお母さん方が避難できるのかとか、そういったこととかを考えた意見と言える会があったりするといいなってちょっと思っています。

【事務局（関）】 ありがとうございます。いろいろ最近の情勢も踏まえたら、不安というところが1つのキーワードになってくるんじゃないかなと思います。後段のところでもまた御説明しますが、そういったところで何か1つのテーマにした検討というか、話し合いとか、いろいろ皆さんに意見をいただいたものをお伝えできるような仕組みが取れるといいかなと、私ども事務局としても考えておりますので、また参考にさせていただきたいと思います。

ほかはいかがでしょう。よろしければ、次の議題の説明に入らせていただきたいと思います。また後で、こんなところを聞きたかったところがあれば、お話しいただければと思います。終了時間を午後8時ぐらいと見ております。

それでは、後半の議題の説明に入らせていただければと思います。議題②、国立市自立支援協議会の今後の方向性についてということで、御説明を差し上げたいと思います。

まず最初に、冒頭御案内いたしました資料1、資料2、資料3を基に御説明させていただければと

おも
思います。

くにたちしじりつしえんきょうぎかい みなさま あつ ぜんたいかい した じむきょく わたし
国立市自立支援協議会、皆様にお集まりいただいている全体会の下に、事務局ということで私ども

くにたちし しえんかいがい そうだんしえんじぎょうしょ はい かたち じむきょく
国立市しょうがいしゃ支援課以外に、相談支援事業所さんなどが入った形の事務局というものをつく

なか いまい ぶかい ぶかい かつどう ほうこく
って、その中に、今言った4つの部会をつくって、それぞれの部会で活動をして報告をしていただい

かたち
ているという形で行っていました。

わたし なか おな ぶかい つづ しりょう だいいめい
やはり私どもの中でも、同じような部会を続けているところもございまして、資料1の題名のとこ

くにたちし じりつしえんきょうぎかい かだいかいけつ む たいせい みなお おこな
ろにもありますが、国立市の自立支援協議会を、課題解決に向けた体制の見直しを行いたいという

わたし しえんかい いっしょ しりょう ま なか じむきょく
ころがございまして、私どものしょうがいしゃ支援課と一緒に、資料1の真ん中にあります事務局

かいぎ こうせい しーあいえる じぎょうしゃ
会議を構成しておりますC I Lさん、なびいさん、エプシロンさん、みなもさん、この4つの事業者の

みなさま いっしょ れいわ ねんど さくねん なつ みなお む ぎろん おこな なか こんかい
皆様と一緒に、令和4年度、昨年の夏から見直しに向けた議論を行ってまいりました。その中に今回

ごていあん だい あん しめ おも ごせつめい
御提案するたたき台の案をお示しさせていただきたいと思っておりますので、その御説明をさせていただけ

おも
ればと思います。

ま なか じむきょくかいぎ こんご かたち か じむきょくかいぎ ぎろん けんとう おこな
真ん中に事務局会議があります。これは今後も形は変わらず、この事務局会議で議論、検討を行っ

なか ぜんたいかい じむきょくかいぎ やくわり めいかくか かだいかいけつ
てまいりました。その中で、それぞれの全体会と事務局会議の役割を明確化するとともに、課題解決に

む ぎろん し く かたち いま たいけいす みなお
向けた議論ができるような仕組みをつくってまいりたいと、そのような形で今この体系図を見直して

きたわけでございます。

いちばんおお かだい あつ しりょう いちばんした とうじしゃ かた
一番大きなところで、課題はどこから集めるかというところで、資料の一番下です。当事者の方や

かぞく かた そうだんしえんじぎょうしょう ちいき こべつ かだい いけん あつ じむきょくかいぎ した
家族の方、相談支援事業所等、地域から、個別の課題や意見などを集めたい。それを事務局会議の下の

しかく ぶぶん にじゅうまる いけん あつ うけつけまどぐち めいしょう べっとかなが おも
四角の部分、二重丸で「意見を集める受付窓口」とありますが、名称は別途考えていきたいと思

ますけれども、これを事務局会議の中において常設して、意見を集める受付の窓口をつくって、例え

ば当事者をキーワードにした参加で人に集まってもらうとか、支援者をキーワードにした参加で集ま

ってもらうとか、そういった形で、様々しょうがいしゃの支援に当たって今どうということが課題にな

っているのかというのを、それぞれ個別課題として集めていきたいと考えています。

さまざま こべつかだい あつ なか じむきょく しゅうやく ぎろん
様々な個別課題を集めた中で、これも事務局ですけれども、それを集約して、議論となるテーマを

設定して、それを今までは部会という形で議論をする場所をつくってまいりましたけれども、ワーキ

ンググループという形にして、より課題に沿った議論が柔軟にできるように、例えばワーキンググ

ループですので、ずっとこのワーキンググループを続けるということではございません。その議論で

一定程度の結論ができたなら違うワーキンググループにしてもいいわけですので、そのような形でワー

キンググループの設定にしてみたいと考えているところです。

これを全体会の中でずっと上に行きますと、ワーキンググループのテーマを設定する、設定したテ

ーマについて全体会で御承認いただいて、全体会議としては、自立支援協議会全体の意思決定という

ことで、例えばワーキンググループの中から検討を進めたことについて、その成果や検討結果につい

て取りまとめて市のほうに意見したりとか、そういったところが全体会の皆さんでできる機能かなと

おも
思っております。

ちいき かだい あつ しりょう しりょう み
地域の課題をどういうふうを集めるのかというのが、資料2でございます。資料2を見ていただ

ればと思います。これはまだ検討中でございますのでたたき台でございますけれども、困っているこ

とを書き出させていただいて、あるとよいものを出していただく。例えば1番目に書いてあるのは、どちらかという、支援者から出るような意見ですね。コロナ陽性となったときにどうすればいいかと。もう1つ、しょうがい当事者の方、知的の方もいらっしゃいますし、精神、身体の方もいらっしゃいます。様々な方がいらっしゃる当事者の課題というのはもっとシンプルなものになるのではないかと。いうお話もありましたので、例えば外に出たいとか、しごと部会の御報告でもありましたけれども、自分の力で仕事をしたいとか、そういったシンプルに今困っていること、やりたいことというものを読み聞くというのも1つあるのではないかとということで、こういった形でシンプルに個別課題を、今それぞれ個人とか地域の中で困っていることとか、あるいはやりたいこととか、そういったものを集めて、それを集約して、あと優先順位をつけて、ワーキンググループをつくって、ワーキンググループの中でそのテーマに沿った議論をして意見交換をしていただく。そんなことを考えます。

ワーキンググループの役割なんですけれども、右側のワーキンググループと書いてあるところに吹き出しが出ていて、その下に、WGの役割、これはワーキンググループの役割なんですけれども、書いてあります。ワーキンググループの役割として、検討テーマとして設定された地域課題について調査、研究すること、地域課題の周知、啓発のための講演や研修会の開催を行うことを考えております。こちらの運営は事務局会議が行うということで、ちょっと字が切れてしまっていますが、当事者の方や支援機関や地域の数などから、ワーキンググループの委員として参加いただければと思っています。ところでございます。

そのような形で、令和4年度、事務局会議の中で見直しを行ってまいりました。部会の固定化さ

れた形を外して、それぞれ地域の課題を集めて、そこからテーマを設定して、そのテーマに沿った議論
ができるような形で、自立支援協議会、様々な皆さんに参加いただいて意見をいただく場をつくって
まいりたいと、そのような形で今考えているところでございます。

今後につきましては、資料3を御覧いただければと思います。令和4年度から5年度のスケジュール
イメージ(案)として出させていたしております。本日、この体系図を御提案させていただいて、
この方向でということになりましたら、4月から早速、意見を集めるようなことを事務局のほうでや
らせていただければと思っております。

令和5年10月に、第1回の全体会を開かせていただいて、ワーキンググループの設定などについ
て御提案させていただければと思います。令和6年3月には、第2回の全体会を開催するということ
で、ワーキンググループの運営を行った進捗の結果を御報告させていただく。そのような形で、
事務局会議で検討した結果を本日皆様に御提案させていただいたところでございます。事務局からの
説明は以上でございます。

ここで、会長の堀江先生がおいでいただけましたので、御挨拶と意見をいただければと思います。
堀江先生、聞こえますでしょうか。

【堀江会長】遅れまして申し訳ありませんでした。今、ニュージーランドのオークランドにおりま
して、オークランドが今、夜の11時になります。今、共同研究者たちとのミーティングが終わって、
雨が降ってきて、土砂降りの中、帰ってまいりました。遅れました。

しょうがいしゃ支援課の課長さんから順次御説明いただいておりますので、今、説明については

じゅうぶんわたくし りかい あたら ほうほう くにたちし ぶんくし
十分私も理解させていただきます。新しい方法で、これから国立市のしょうがい福祉を、みんなで

あしもと かた かんが けいかく おも たの
じっくり足元を固めながら考えていこうという計画だと思っておりますので、とても楽しみにしています。

ねが
どうぞよろしくお願いいたします。

じむきょく せき ほりえせんせい とお はな ばしょ よるおそ じかん ごさんか
【事務局（関）】堀江先生ありがとうございます。遠く離れた場所から、夜遅い時間に御参加いただ

きまして、ありがとうございます。

ぜんはん かくぶかい ごほうこく こうはん だいいん ごせつめい
前半で各部会に御報告いただいて、後半、たたき台案ということで御説明をさせていただいている

ふかい
ところでございます。あと、これについては、部会はどうなるんだというところでございますけれど

あたら せつてい かりお かたち ぶんかい さんぞく
も、新しいワーキンググループの設定ができるまでは、仮置きという形で部会については存続させ

れいわ ねんど わたくし じむきょくかいぎ あたら せつてい
ていただいて、まずは令和5年度、私も事務局会議のほうで新しいワーキンググループが設定で

ちいきかだい あつ さまざま ごいけん あつ と かんが
きるような地域課題を集める、様々な御意見を集めるところにまず取りかかりたいと考えているところ

でございます。

じぜん しりょう おく かたち ごせつめい はじ
事前に資料をお送りしたんですが、このような形で御説明するのも初めてでございますので、なか

むずか おも ほんじつぜんたいかい きたん ごいけん みなさま
なか難しいところだと思っておりますが、本日全体会でございますので、忌憚のない御意見を皆様からいた

おも ねが
だければと思います。よろしくお願いいたします。

み わ ぶんぶん ごいけんとう ねが
見ていただいて、分からない部分があれば御意見等をお願いします。

ふるはたいいん ごせつめい しつもん いけん あつ まどぐち じょうせつ
【古旗委員】御説明ありがとうございます。質問なんですが、この意見を集める窓口というのは常設

じょうせつ じょうせつ
となっていますけれども、なかなかイメージがつかなくて、常設というのは、どこにどう常設され

き こべつ かだい しりょう
るのかというのが1つ聞きたい。この個別のワーキンググループのための課題というのは、資料2を

かたち はいふ かだい しゅうやく しゅうやく おそ
どういう形 でどこに配布して課題を集約をしていくのかというのと、集約されたもの、恐らく

じむきょく さいだ しほ じむきょく
事務局さんは4つなので、また再度4つのテーマに絞って、ワーキンググループのテーマを事務局さ

なか はな あ だ かたち だ たい ちいきかだい と
んの中で話し合ってそれを出すみたいな形 でしょうか。出したものに対しては、この地域課題に取り

く ひと しない じぎょうしょ かぞくかい とうじしゃ かた ふく いいん
組みたい人みたいなのを、市内のいろんな事業所とか家族会とか、当事者の方も含めて、どなたか委員

きぼう つの かたち ねが
になる希望を募るといような形 でしょうか。よろしく願います。

じむきょく せき うけつけまどぐち しやくしよ ちゅうしん
【事務局（関）】 受付窓口はどこかというところですが、これは市役所を中心としたところで、あ

じむきょくかいぎ さんか じぎょうしょ みなさま そうだんしえんじぎょうしょ ごさんか
と事務局会議に参加している事業所の皆様とか、相談支援事業所さんとかに御参加いただきながら、

つね まどぐち あ かんが
常に窓口は開けていきたいと 考 えております。

たと あつ かみ いま じむきょくかいぎ なか
例えばどういうふうを集めていくかについては、紙でもいいですし、今、事務局会議の中では、ネ

かつよう
ットのアンケートフォームみたいなものも活用できればいいのではないかとというのがありましたの

けんとう つね こべつ かだい いけん
で、そういったことはこれからまた検討させていただきたい。ただ、常に個別の課題について意見を

だ ごようい かんが
出させていただくところは御用意していきたいと 考 えているところでございます。

しゅうやく じむきょくかいぎ しりょう じむきょくかいぎ やくわり みぎがわ
それを集約するのは事務局会議でやらせていただいて、資料1に事務局会議の役割というものが右側

ま なかあた ぶん だ しゅうやく せってい
の真ん中辺りの吹き出しのところにあるんですけども、集約とワーキンググループの設定と、ワー

うんえい じむきょくかいぎ おも うえ
キンググループの運営は事務局会議にやらせていただきたいと思います。その上で、どのよう

かたち おな へん かだい けんとう
な形 で、同じように4つのワーキンググループができるのかとか、その辺はまた課題のところでは検討

おち さき い ゆうせんじゆんい うえ
させていただきたいと思いますが、先ほど言ったように、優先順位をつけた上でワーキンググループ

せってい じむきょくかいぎ おこな かんが
の設定は事務局会議で行ってまいりたいと 考 えているところでございます。

ワーキンググループにどなたに入っていたかということも、テーマに応じた委員設定も、私ども事務局で考えさせていただくと、そのように考えているところでございます。

【古旗委員】 そうしますと、意見を集める受付窓口というのは、今、事務局会議の方プラス、その中でほかにも募集をして集まるという感じですか。

【事務局（関）】 意見を集める受付窓口の中にも書かせていただきましたけれども、例えば当事者をキーワードにした意見を聞く会をつくったりですとか、イベントのような形で個別に意見を集める

機会もつくりながら、日頃から何か困ったことがあったら意見をを出していただくと、そんなところも含めて考えているところです。

【古旗委員】 そうしますと、その意見を集める受付窓口としては、事務局が中心に、例えば当事者の方を集めて、積極的に意見を集約したりとか、そういうことをしていくということで、基本は事務局としようがいしゃ支援課の方がそこを中心にしていくという理解で合っていますでしょうか。

【事務局（関）】 現時点ではそのように考えています。

【古旗委員】 そうすると、委員についても、課題設定をした後に、事務局さんのほうで、この課題であればこういう人に入ってもらいたいなという形で、直接依頼をするという形ですか、それとも広く、こういったことを取り組むのでということで、以前は何か、こういった部会があるので参加希望を、広く希望参加の有無の確認をしていたという話も聞いたことがあるんですけども、広くというよりも一本釣りみたいな形でお願ひしていくようなイメージでしょうか。

【事務局（関）】 これは設定するテーマによっても違ってくるのかなと思いますが、今、古旗委員が

おっしゃったように、広くワーキンググループの構成員を公募するという形も1つテーマによってはあるのではないかと思います。私どもとしては、開かれた当事者参加も含めたワーキンググループといったものは考えておりますので、広い呼びかけについては前向きに考えていきたいと思っております。

【古旗委員】 ありがとうございます。

あと、他地区を見ると、相談支援、そこは部会として計画相談に従事している事業所が集まっている会というのはよくあると思うんですが、計画相談のところにいろんな当事者の方の困り事があったり、事業所の困り事とかが集まってくると思うんですが、相談支援部会とか例えばそういった活用というのとは何かお考えがあったりするんでしょうか。

【事務局（関）】 今、相談支援の事業所さんで連絡会なども今後開いていただくようなところがございますので、そういったところとやり取りしながら課題の共有について考えてまいりたいと、今考えております。

【古旗委員】 あと、実施方法としては、基本は来年度についてもオンラインが基本なんでしょうか、それとも対面になっていくものなんでしょうか。

【事務局（関）】 オンラインか対面かについては、こういった様々な感染状況の推移にもよるかと思っておりますけれども、一方でこのオンラインという参加手法が、比較的、参加のしやすさにつながる部分もあると思っておりますので、そこはどちらかに限らず、課題とかが設定された場面に応じた方法を

ひろ じゅうなん かんが かんが
広く、そこは柔軟に考えていきたいと考えております。

ふるはたいいん
【古旗委員】 どうもありがとうございました。

きたもといいん ぜんかい ちいきぶかい ぶかい なか どうじしゃ かぞく かい
【北本委員】 前回、地域部会とか部会の中で、当事者・家族というのがちゃんと会としてあったと

おも じむきょくかいぎ なか どうじしゃ かぞく はい
思うんですけれども、この事務局会議の中に当事者・家族が入っていないのはなぜでしょうか。とい

いますのは、どうしても事務局会議という権力に近い状況になってしまいますと、事業者さんの

いけん つよ けっきょく どうじしゃ かぞく ほんらいいけん い どうじしゃ
意見のほうが強くなってしまっ、結局、当事者・家族、しょうがいしゃ、本来意見が言いたい当事者

いけん とお おも なか どうじしゃ かぞく いいん
の意見がどんどん遠くなってしまうと思うんです。ですので、やっぱりこの中に当事者・家族の委員さ

はい わたし おも いちばんこうへい おも
んが入るべきだと私は思うんです。それが一番公平だと思うんですけれども、いかがでしょうか。

じむきょく せき じむきょくかいぎ そうだんしえんじぎょう おこな し ちゅうしん すす
【事務局（関）】 事務局会議は、相談支援事業を行っているものと、市が中心になって進めるとい

うところではありますが、その部分については全体会の中に、ちょっと本日はいらしていただいていま

せんけれども、家族会の方もいらっしゃると思いますので、そこと意見交換をしながら、今の事務局

かいぎ ていあん たと たいけいす みなお しょうにん ぜんたいかい やくわり も
会議の提案を、例えばこの体系図の見直しですと、承認するのは全体会としての役割を持ってござい

ますので、そこで各部の当事者の方、家族の方も入れた形での承認を入れさせていただきたいと考

えております。

こべつ いけん なか どうじしゃ かた いけん かぞく かた いけん じゅうし
あとは、個別の意見の中で、やはり当事者の方の意見や家族の方の意見を重視して、あとはワーキ

なか こかぞく かた どうじしゃ かた せっきょくてき いっしょ はい いっしょ ぎろん
ンググループの中に御家族の方、当事者の方を積極的に一緒に入っていて、一緒に議論できる、

ば かんが おも
そんな場をつくって考えてまいりたいと、こんなふうに思っております。

は がいいん なに こま しえんきかん しやくしよ そうだん じぶん
【芳賀委員】 何か困ったときに、支援機関じゃなくて、市役所とかに相談したことが自分はあるん

です。市役所で、その困り事とか生活の相談とか、その声は拾い上げないのでしょうか。

【事務局（関）】 市役所にももちろん困ったことを相談いただく部分は、困ったことを相談として、そこで担当のケースワーカーと一緒に話して、新しく解決できたらそれでもいいと思うんですけど

も、例えばその困り事がお一人お一人だけの物すごく個別の問題なのか、地域でみんなが困っている

問題になれば、ここでワーキンググループとして解決するにはどうしたらいいかというような広く

議論をしていく場をつくるのも、今後の自立支援協議会の中でやっていく役割の1つかなと考えてお

りますので、もちろん市役所の相談ほうに御相談いただいても構いません。それは今までと変わりは

ありません。

【古旗委員】 もう1つ質問なんです、地域課題のワーキンググループの役割として、地域課題の

周知、啓発、講演や研修の開催も役割とするとなっていますけれども、やっぱりある程度本当に課題

を解決するとなると、予算がついていないと難しい部分が実際あるのではないのかなと考えてるんで

すけれども、そのあたりの予算とかについてはどうなっているのでしょうか。

【事務局（関）】 事務局のほうで、講演会とかの予算というものは少し確保している部分ありますけ

れども、まだ潤沢にどういったものを確保するとかというものはありません。ただ、こちらにつきま

しては、例えばワーキンググループの中で設定される議論の中で、どういったことが必要かによって

は、市の中でも新たな予算の獲得、そういったものについては検討していきたいと考えております。

【古旗委員】 ありがとうございます。

【松田委員】 何点か伺いたいんですけども、まず、先ほど北本委員からの話もあった当事者の

いけん こんかい だい で どうじしゃ かた ごいけん はんえい
意見ですが、今回のたたき台が出てくるプロセスに、そういった当事者の方の御意見がどのように反映

されていたのか、いれたいのかなと思ったのと、あと、今、市からの御説明は理解したんですけれ

ども、事務局会議の中でお話しされたということだったので、ほかの事務局会議に参加されている

じぎょうしゃ いけん かいぎ さんか うかが
事業者さんから、どういう意見があったのかということを会議に参加されているのでちょっとお伺い

できればなと思いました。まず、これが1点目です。

じむきょく せき どうじしゃ こてい ぶかい いま ちいき どうじしゃ かた
【事務局（関）】 当時者、やっぱりもともと固定した部会ではなくて、今、地域で当事者の方がどう

いうことに困っているか、そのテーマに沿った議論をしていくということが、見直しの中で必要では

ないかといったような御意見が最初に事務局会議の中でも出されましたので、それに沿ってどういっ

たことをテーマにしてできればいいかといったものを、事務局会議の中で考えたところでございま

す。

なか どうじしゃ かた いけん す あ さき い
その中で、やはり当事者の方の意見をどのようにして吸い上げればいいのかについては、先ほど言っ

しりょう こべつかだい ちゅうしゅつ つく こべつかだい
た、資料2の個別課題の抽出シートのようなものを作ってみたらどうかといったところで、個別課題

ちゅうしゅつ ぎろん
抽出シートの議論があったといったところでございます。

じむきょくかいぎ さんか じぎょうしょ いけん
ほかの事務局会議に参加した事業所さんからの意見ということでよろしいですか。

まつだいいん まえ どうじしゃ ごいけん はんえい
【松田委員】 その前に、当事者の御意見というのは、どういうふうに反映されていたのか、しなか

ったのかということをお伺いしたかったんですけれども、事務局会議の中で、当事者の意見ではなく

じむきょくかい なか はなしあ なか き
て、事務局会の中での話合いの中で決まったということですか。

じむきょく せき じむきょくかいぎ なか けんとう
【事務局（関）】 そうですね。事務局会議の中で検討してきたというところがあります。

まつだいいん　じむきょくかいぎ　なか　で　こいけん　はいけい
【松田委員】 事務局会議の中で出た御意見があったということなんで、そういう背景とかをほかの

じぎょうしゃ　うかが　おも
事業者さんからお伺いできればと思います。

じむきょく　せき　しーあいえる　ほそく
【事務局（関）】 C I Lさんから、補足がありますか。

じむきょく　なかね　まつだ　かい
【事務局（中根）】 すみません。松田さんもう1回いいですか。

まつだいいん　わ　じむきょくかいぎ　なか　だい　で
【松田委員】 すみません、分かりづらくて。事務局会議の中で、こういったたたき台が出てきたと

いうことだったので、こういった組織の変更に関わる背景というか、どうしてこういうふうな御意見が

で　なに　りゆう　おし　おも
出てきて、何か理由があるのであればちょっと教えていただきたいなと思ったんです。

じむきょく　なかね　いけん　あ　こべつ　とうじしゃ　こま
【事務局（中根）】 意見を上げられるところがなかったので、個別で当事者が困っていることなどを

あつ　こべつ　もんだい　くにたちし　かだい　しく　つく
集めて、個別の問題が国立市の課題になるんじゃないかということでこういう仕組みを作ったんです

けれども、しく　なか　とうじしゃ　さんか
仕組みだけはつくったんですけれども、その中で当事者もどんどん参加してもらえると

しく　おも　こた
う仕組みにはなっていると思うんです。ちょっと答えがあれかな。

じむきょく　しのはら　いま　じりつしえんきょうぎかい　なか　ぶかい　じむきょく　じぎょうしょ　だんとう
【事務局（篠原）】 今まで自立支援協議会の中では、部会を事務局の4事業所が1つずつ担当して、

なか　ちいきかだい　い　あつ
その中で地域課題と言えるかどうかあれですけども、そこで集まったメンバーたちが、しょうがい

ひと　ちいき　く　こま　ごと
のある人たちが地域で暮らす困り事ということについて、どういうことをやっていけばいいのかとい

うところをいっしょうけんめい
うところを一生懸命やってきたんですけれども、これでいいのかなというところがあったし、あんし

ぶかい　い　づ　い　づ　ぶかい　とうじしゃ　かぞく
ん部会のほうは行き詰まっているという行き詰まりもあって、部会ではなくて、当事者とか家族とか、

かた　ちいき　こま　ごと　あつ　はなし　ひとりひとり　もんだい　かか
いろんな方から地域にある困り事を集めてはどうかという話もあり、一人一人がいろんな問題を抱え

せいかつ　ひとりひとり　かだい　ち　よ　ちいきかだい
て生活しているだろうということで、一人一人の課題を持ち寄ったときに地域課題になるようなもの

もあるんじゃないかということで、だったら、^{こべつ かだい ちいきかだい}個別の課題から地域課題にして、それをいろんなメン
バー、ワーキンググループの名称^{めいしょう}になっておりますが、そこで当事者^{とうじしゃ}とか家族^{かぞく}とか支援^{しえん}している方
ちとか、そういう方^{かた}がメンバーで、^{かいけつさく}どういう解決策があるか、^{かた}どういことをやっていけばいいか、
システムづくりだったり、その中には行政^{なか ぎょうせい うご}に動いてもらわなければいけないこともあると思
います。
それから、社会資源^{しゃかいしげん なか}の中でやっていけることもあります。そういうことをまとめてつくり上げてい
れば^{おも}と思えました。

うちのほうも当事者部会^{とうじしゃぶかい}をやっていて、せっかく当事者部会^{とうじしゃぶかい}があるのにな、どうしようかなとい
話^{はなし}も実際^{じっさい}あったんですが、当事者^{とうじしゃ}の人たちもワーキンググループに入^{はい}ってもらって、当事者部会^{とうじしゃぶかい}に入
っている当事者^{とうじしゃ}は限^{かぎ}られていますから、いろんしょうがい^もを持った人^{ひと}を入^いれたいといって応募^{おうぼ}はし
たんですけども、7人^{にん}ですとやってきて、当事者部会^{とうじしゃぶかい}の方^{かた}たちも、いろん課題^{かだい}をかか^{かか}せて生活^{せいかつ}
しています。それを一つ一つの部会^{ひと}で解決^{かいけつ}できるかという、どうにもなかなかできない。だったら、
自分^{じぶん}の個別課題^{こべつかだい}から地域課題^{ちいきかだい}のほうへまとめ上げて、そこで1つの課題^{かだい}として当事者^{とうじしゃ}から、いろん
意見^{いけん}をもらったり、いろん事業者^{じぎょうしゃ}からお知恵^{ちえ}を拝借^{はいしゃく}して、しょうがいしゃ^{ちいき}が地域^くで暮らす、共に暮
らすというところの、^{ちが いけん}違う意見^{おち}というか、つくっていければいいのかなと思っはいます。

【^{まつだいいん}松田委員】 ^{りかい}ありがとうございます。理解^{じむきょくかいぎ}しました。事務局会議^{なか}の中^{ようす}での様子^しを知りたかったので
^{うかが}お伺^{たいせい}いたんですが、そうすると、体制^{ほうこう}としてはこうい方向^{いろんとう}で異論^{たしよ}等は、多少、いろん課題^{かだい}とか
はあるかもしれませんけれども、体制^{たいせい}としてはそうしていきたいというふう^{りかい}にまとまったと理解^{りかい}して
よろしいですか。

ありがとうございます。

お時間をいただいて申し訳ないんですけども、先ほど予算の話が出ていましたが、私もそこが

少し気になって、国立市しょうがいしゃ施策推進協議会というのがもともと計画策定委員会というも

のであったと。それを衣替えしたと認識しているんですけども、そことの関係性が「意見等連携」

となっているんですけども、これは何か根拠があるものなのか、どういうふうに意見を述べていく

のか、システム的な担保があるのかどうかということをちょっと、役割分担とか関係性みたいなも含め

て教えていただきたいなと思いました。

【事務局（関）】 国立市のしょうがいしゃ施策推進協議会は、上のほうの全体会と矢印で連携とい

うような形の仕組みを取らせていただいておりますけれども、まず、しょうがいしゃ施策推進協議会

については、今私もどもでつくっているのは国立市しょうがいしゃ計画です。しょうがいしゃ計画の

中間評価を行っていただいているところです。中間評価を行った後に、法定で定められている次の

法定の計画、しょうがいしゃ計画というのを改めてつくっていくわけですけども、その役割をしよ

うがいしゃ施策推進協議会が担っているといったところになります。

今後、計画ができた段階で、例えば計画で様々な市の施策がその中で進むわけですけども、その中に

例えば自立支援協議会のワーキンググループから検討された施策の反映とか、そういったところにつ

いて、同じような施策につながる部分もあるかと思えますし、違う意見も出てくるかもしれませんか

ら、そこは私もども市のほうで、推進協議会で出た意見と、自立支援協議会で出た意見をつなぎ合わ

せるとか、方向性を確認するとか、そういったところはやっていきたい。それは自立支援協議会とし

しょうがいしゃ^{し さく すい しん きょう ぎ かい} 施策推進協議会のそれぞれの役割^{やくわり なか さだ}の中で定まった部分^{ぶぶん}がありますので、その中で整理^{なか せいり}させて^{おも}いただきたいと思います。

【松田委員】^{まつだいいん} 今、役割^{いま やくわり なか}の中でとおっしゃったんですけれども、施策推進協議会^{し さく すい しん きょう ぎ かい}は、そうすると計画^{けいかく}

を策定^{さくてい}するのが役割^{やくわり}ということではよろしいんですか。

【事務局（関）】^{じむきょく せき} 計画^{けいかく}の策定^{さくてい}と、それから施策^{し さく}の評価^{ひょうか}。計画^{けいかく}の評価^{ひょうか}は続けていきますので、今、計画^{いま けいかく}

の中間評価^{ちゅうかんひょうか}とそれから新たな計画^{あら けいかく}のときの、例えば推進協議会^{たつ すすい しん きょう ぎ かい}も2か月に一遍^{げつ いっぺん}ぐらいその計画^{けいかく}につ

いては回^{かい}を重ね^{かさ}ているんですね。ただ、計画^{けいかく}ができた後^{あと}については年度^{ねんど}の中の進歩^{なか しんちよく}評価^{ひょうか}みたいなこと

を行^{おこな}っていく形^{かたち}になりますので、計画^{けいかく}の評価^{ひょうか}はどういうふうに進^{すす}んでいるかというのを、主に^{おも}

推進協議会^{すすい しん きょう ぎ かい}のほうでは議論^{ぎろん}していただく^{かんが}と考えております。その中で、例えば計画^{なか}の中で反映^{たつ けいかく}し

ている施策^{し さく}のところ、例えば自立支援協議会^{たつ じりつしえんきょうぎかい}もそれが地域課題^{ちいきかだい}の中から出た施策^{なか}であれば、こうい

った同じような報告^{おな ほうこく}を推進協議会^{すすい しん きょう ぎ かい}の中^{なか}でもさせていただく^{かんが}というのはできるのではないかと考えて

います。

【松田委員】^{まつだいいん} くだくて申し訳^{もう わけ}ないんですけれども、役割分担^{やくわりぶんたん}として私^{わたし}が確認^{かくにん}したいのは、自立支援協

議会^{ぎかい}というのはどういう役割^{やくわり}を担^{にな}っていく、そしてその関係性^{かんけいせい}というのは、推進協議会^{すすい しん きょう ぎ かい}とどうい

関係性^{かんけいせい}、今^{いま}のお話^{はなし}を伺^{うかが}うと、自立支援協議会^{じりつしえんきょうぎかい}で上げたものは、しょうがいしゃ支援課^{しえんか}が引き取りま

すよということのように私^{わたし}は理解^{りかい}したんですけれども、それで、しょうがいしゃ支援課^{しえんか}が推進協議会^{すすい しん きょう ぎ かい}

の事務局^{じむきょく}でもあるので、その中で自主的に消化^{なか じしゆてき}していくというふう^{しょうか}に聞き取れたんですが、そういう

認識^{にんしき}なんでしょうか。

【事務局（関）】 もともと自立支援協議会については、地域の方で様々な、全体会もそうですし、部会

も、今後ワーキングにすればワーキングもそうなんですけれども、地域の中でしょうがいしゃの自立の

ためにどういうことができるかというのを、様々な立場からいろんな方に議論していただくのが自立

支援協議会だと、市のほうとしては今理解しているんですね。

そして、しょうがいしゃ施策推進協議会は、今言った法定されている計画をつくるところが役割と

なってございますので、それぞれ役割を持っている。そういった違いはあると考えております。

【松田委員】 先ほど古旗委員がおっしゃったように、課題解決型に向けてというふうに、今回、組織

自体を改編していくわけですね。それを担保するものが何かということが、ちょっと私にはなかなか

腑に落ちないところがありまして、結局、今までも部会で上げたものが、私は細かいことは存じ上げ

ないですけども、多分いろんな課題があったと思うんですね。それを上げていく先が例えばなかつ

たとか、実現していく方法、あるいは予算立てする手段がなかった、そういった要因で課題が解決し

なかったみたいなこともあったのではないのかなと思うんですけども、そうすると、この図でいう

と、全体から協議会上がっていく太い矢印、結局これが変わらないとあまり課題解決型に向けてと

いう意味に通じないのではないのかなと、そういう懸念が正直なところあるんですけども、その辺

の御説明がいただけるとありがたいんですが。

【事務局（関）】 そうすると、今、矢印が推進協議会だけになっているので、例えば、そこに上に

行政とか、市のほうに直接反映される図になっていないというところの懸念でございますか、今、

松田委員がおっしゃるのは。

まつだいいん たと しさくすいしんきょうぎかい じょうれい み し ふぞくきかん
【松田委員】 例えばしょうがいしゃ施策推進協議会の条例を見ると、市の附属機関となっている

わけですよね。それはそれで、別にそれぞれの役割があっというんで思いますが、推進協議会

というのは法設置だということで、その矢印の意味合いというのが、これだけ見ると何か反映して

いくのかなと思って私は伺ったんですが、1回市が引き取るよとなると、それをシステムの担保す

るものがないように私は理解しているんです。もし認識が違ったら訂正していただければと思います

す。

じむきょく せき じりつしえんきょうぎかい ていあん し たと しさく じっごう
【事務局（関）】 自立支援協議会で提案されることは、市のほうに、例えば施策として実行するよう

な必要性があれば、それはきちんと市としては考えてまいりたいと考えています。なので、こうい

った地域課題から出たそれぞれの施策の意見の反映みたいところを、全体として戻していくのは市

の行政の役割でもございます。ただ一方で、例えば地域の役割も、例えば町会であったりとか、事業所

で考える中での何らかの強化であったりということになると、市だけではなくて、地域の方や

事業者の方の様々な協力は出てくるのかなと考えているところです。

まつだいいん し しえんか くにたちしちょう
【松田委員】 市というのは、しょうがいしゃ支援課ということですか、それとも国立市長ですか。

じむきょく せき くにたちし われわれ しえんか わたし じりつしえんきょう
【事務局（関）】 国立市ですね。我々、しょうがいしゃ支援課は、あくまでも私どもの自立支援協

議会のしょうがいしゃ施策に関するところとなりますので、そこが中心になるかと思えます。

まつだいいん ぜんたいかいいい か かん さき しのはら はなし なかね はなし
【松田委員】 全体会以下のことに関しては、先ほど篠原さんのお話、中根さんのお話もありまし

たので理解したんですが、ちょっと今のところやはり、今の御説明ですと、すみません、そうですか

というふうにはならない。また今後教えていただければと思います。

【事務局（関）】 今、松田委員がおっしゃられた原因というのは、自立支援協議会でせっかく地域課題

が出て議論されたことが、そのままになってしまわないかというのは御懸念にも思われますの

で、そこはきちんと反映していく仕組みをこの中に表現できるような形に考えてまいりたいと思

います。

【松田委員】 そうです。その課題解決が課題だったと思うので、それを解決する形になっているか

というところが1つ疑義としてありますので、御意見として挙げさせていただきます。

【事務局（関）】 この中でまとまってしまって、何も変わらなかったということで、私どもばかり

になると思ってもございますので、きちんとそれを、ただ、自立支援協議会は、先ほど言ったように、

市だけではなくて、様々の方の御理解や御協力がある中で説明させていただくものでございますの

で、そういったところを表現できるような形に改めて直させていただければと考えております。

【事務局（篠原）】 事務局会議の中にも、ワーキンググループで出た提案は全体会上げていって、

全体会で、例えば市の施策としてやっていくことが適当だろうというような決定があったときには、

市に上げていくんだということを、今日の全体会でもちゃんと話してほしいという話も出たかと思う

んですが、ほかの事務局の事業所の方たちはどうでしょうか。そういう話も出たかと思うんですが。

【事務局（白川）】 エプシロンの白川です。市へ上げるということもそうなんですけれども、先ほ

ど松田さんが言っていた課題解決型に向けてという部分のことを話しますと、エプシロン、かいゆう

は、最初から自立支援協議会あんしん部会という形で始めていましたが、始めるときに、こういうも

のをつくるとなって、くらし、あんしん、つどい、しごとという4つのキーワードで部会をつくらんと。

それで、そのキーワードだったらこういうことがテーマかなと、こういうことがテーマならこういう

ところが所属したほうがいいだろうというふうに、何となく決められて始まったんですね。

なので、あんしん部会は防災、あるいは権利擁護ということかなということで、最後の何年間かは

防災が中心になったんですけども、ということは消防、警察、保健所、そういう方々が委員だっ

たんですが、しょうがいのある人たちに日常的に特に接していない方たちが委員であったりして、

正直に言うとなかなか困ってしまいました。

一方、ふだん相談支援の業務をやっていたら、その地域の中で困っていることというのは、例えば

送迎が足りないとか本当にたくさんあって、そういうことが一事業所として、業者さんとの中で何と

か解決していこうと思うんだけど、やっぱりもうちょっと広く地域の課題なんじゃないかと思う

ようなことがたくさんあるんだけども、そういうことが扱えないまま自立支援協議会に属している

から定期的に部会とかをやるんですけど、何かちょっと形式的なものになるような感覚がありました。

ほかの相談支援の事業所の人たちも同じような気持ちを持っているようなことが話合いの中で出てき

たので、やっぱりどうやって当事者の困り事を吸い上げていくのか、その仕組みをつくろう、どうい

う形でやれば吸い上げられるのかということから、去年の夏に話合いを始めていきました。

また、ワーキンググループという、課題に焦点を当てて、それを何とかしていこうという単位にな

れば、もうちょっとそこにモチベーションを持って参加する人たちが集まって、すごく動けるんじゃないか

ないかと思って、そういうふうにちゃんと機能していく自立支援協議会にしていきたいと、そういう

ところが課題解決型に向けての見直しということで、ぜひそういうふうにやっていきたいと思ってい

ます。

【北本委員】 前回、私、結構、地域の前に、C I L くにたちさんたちと入ったグループ、つどい部会に入っただけですけども、そのときに皆さんでアイデアを出して、くにたちNAVIというシステムをつくったんですね。国立市内にあるレストランの幅とかを調べて、車椅子が入るとか手話の会話ができるスタッフがいるですとか、細かいアンケートをつくって、すごい大変だったんですけども、意見を吸い上げてつくってもらったんですが、結局スタートしてみると、C I L くにたちが事務局になって、その部会はアイデアを出しましたから卒業ですみたいな感じになっちゃって、アイデアを出してみんなが頑張ったのに、あれC I L さんだけなのと私は正直思いましたし、事務局会議をやるのは全然構わないんですけども、これをもう決まったこととして出てくるのが私の中ではちょっと分からない。

みんなで国立市の重度のしょうがいとか、身体しょうがいとか、事業所の人数、しょうがいしゃの人数に対しての比率に合わせた部会が入っているとか、そういうことを細かく調べてつくられているのか、全く見えない中にぽんと出てきたので、私はちょっとどうなんだろうという疑いぐらいに思ってしまうぐらいの何かもやもやとしたものがあるんです。

前のこの事例がなければ、私も全然気にしない案件だったんですけども、やっぱり障害年金に關しても、身体しょうがいしゃの方が一番もらっているんですよ。精神の方が一番最後だったので全然もらえていないんです。そういう配分の比率もあるので、やっぱりそこはきちっとちゃんと現実に照らし合わせた状態でお話を進めていただきたいと思います。私は思います。

とうじしゃ いけん い かいぎ じむきょくかいぎ なか とうじしゃ
当事者なので意見を言わせていただきました。こういう会議というのは、事務局会議の中に当事者の

ひと はい ぜったいけん で おも とうじしゃ ぜったいはい
人が入っていないと絶対意見として出てこないと思うんですね。そこは、やっぱり当事者は絶対入っ

ていこうへい おも ねが りけん まった かんけい ひと い あんけん おも
ていることが公平だと思うので、お願いいたします。利権と全く関係ない人が言うべき案件だと思う

ので、と あ と あ しぎかい がわ みな えら き
取り上げる取り上げないのは市議会ですとかそっち側の皆さんで選ばれたりして決めることで

すけれども、いけん あ だれ き けつきょく せいしん
意見を上げるところがなかったら誰も聞いてくれないので、結局しょうがいしゃ、精神

のしょうがいしゃとこ ねが
のしょうがいしゃは閉じ籠もるしかないなので、よろしくお願いします。

じむきょく せき いま ごいけん き たし なん いし
【事務局（関）】 ありがとうございます。今、御意見を聞いていて確かにそうですね。何らかの意思

けつてい なか とうじしゃ はい ひつよう おも たと
決定のプロセスの中には当事者が入っていただくということも必要なのかなと思いますので、例え

わたし いけん あつ うけつけまどぐち じょうせつ じむきょくかいぎ なか い
ば私も意見を集める受付窓口を常設するとなりますけれども、それを事務局会議の中に入れてい

るわけですけれども、いけん あつ うけつけまどぐち とうじしゃ かた いけん あつ なか たと
意見を集める受付窓口、当事者の方から意見を集める中で、例えばワーキング

をつくるとか、し しさく はんえい なか とうじしゃ かた せつきょくてき かか
市の施策として反映するプロセスの中に、当事者の方に積極的に関わっていただくよ

うな仕組みを追加で考えさせていただければと思います。ありがとうございます。

ふるはたいいん しつもん かだいはいけつがた む ぜんたいかい ねんなんかい
【古旗委員】 また質問なんですがこの課題解決型に向けてというところで、全体会としては年何回ぐ

らいをこんご かんが じっさい た あ
らいを今後やっていくと考えていらっしゃるのか、ワーキンググループは実際立ち上げたらどういっ

たペースでやっていくのか。おそ ぜんたいかい いけん しゅうやく くにたちし
恐らく全体会にいろんな意見を集約して、国立市のしょうがいしゃの

しさく はんえい ねん かい ぜんたいかい しゅうやく かいすう ひじょう すく
施策に反映していくとなると、年2回の全体会で集約してやってくというのは回数としては非常に少

ないんじゃないかという印象と、いんしょう よさん たと と く
ないんじゃないかという印象と、予算についても、例えばワーキンググループで取り組んで、これを

やりたいね、いま よさんか らいねんど む
やりたいね、タイムリーにやりたいねといっても、いや、今は予算化されていないので来年度に向け

て予算化していきますみたいになると、やっぱり話し合いだけで終わってしまうというような、今回、

地域交流部会でも、常に予算の部分というのはどうやって捻出したらいいのかみたいなどころはず

っと出たので、やっぱり課題というのはタイムリーに取り組むことはとても大事だし、早ければ

早いほど、そんな簡単には解決できないことがたくさんあるので、最初の一步は早めに取り組んだほ

うがいいのかなというのもあるんですが、そのあたり、何か全体的なイメージというのは、ないのか

もしれないですけども、今のところのお考えを教えてくださいましたらと思います。

【事務局（関）】 資料3にあるとおり、まずは意見を集める、集約を令和5年度かけてやりたいと

思っております、その中間報告のようなものを10月にやらせていただきたいと。3月にはその年度

の進捗の報告をさせていただきたいというスケジュールを今考えております、事務局としては年

2回程度のイメージを今持っているところでございます。

ただ、今、御意見があったように、例えばワーキングの設定ですとか、そういった中ではこれでは

足りないという部分ももちろんございますので、そこについてはちょっと考えてまいりたい。ただ、

市のほうで予算がかかるものについては、市の予算策定の部分は影響してまいりますので、例えば

来月すぐに予算が用意できるかというのは、行政の仕組みの制約に関わる部分については、ちょっと

限界があるというのは正直なところでございます。

ワーキンググループについては、設定されたテーマに応じた開催回数などを、別途、そこはワーキ

ンググループの中で検討してまいりたいと考えているところでございます。

【古旗委員】 ありがとうございます。

【事務局（関）】 ほかはいかがでしょうか。

オンラインで参加いただいている事務局会議のメンバーの方も含めてですけれども、何か意見や

補足があればと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局（中根）】 全体会の体系が来年度から変わるじゃないですか。全体会がちゃんと課題を解決

できる場所になればいいかと、これは私たちの気持ちなんですけれども、私の。何かあやふやにな

っちゃうのがちょっと一番怖いなと思ったんですけれども、その辺はちゃんとしてほしいなという願

いがあります。

【事務局（関）】 分かりました。ありがとうございます。まず、全体会の中できちんと意見の反映と

承認みたいなものは考えてまいりたいと、市としても考えております。

【事務局（篠原）】 ワーキンググループで、話し合ったことを、決めたことを、全体会がちゃんと承認

してくれて、ワーキンググループがこの問題はどこでどうやって解決していくのがベストだという

提案が出されるとして、それを行政に持っていくのか、提案と同時に動けるように徹底していただか

ないと困ると思うんです。それが、できるようになったらなと思います。

今までも、部会でいろんなことを話してきましたけれども、部会がずっとその期間やっていくのか

どうかということも1つありましたし、さっき、つどい部会の人たち言っていましたけれども、つ

どい部会で一定程度形にしたときに、その場に出た情報を、どこがどういうふうに、その情報をど

うやって更新していったり、そういう役割をずっとつどい部会がやるのかどうか、どこがやるのかと

いうところが、すごく私たちは議論しました。

結果的に、さっき言われたけれども、CILが、更新とか、新しい情報を出すという部分は、うまくはやれていないですけれども、そういうことになっています。そこまで持っていたんですね。

なので、このワーキンググループで決めたことを、そうなんですか、こういう案もいいですねじゃなくて、いい案なら、どうするのかという部分、自立支援協議会としてワーキンググループで話し合った結果をどこへどう持っていくかというところの決定までするんですよねというところを、今日はそこを話してほしいし、結論も出してほしいと思います。

【芳賀委員】 自分は心身しょうがいなんですけれども、なびいに登録しないしょうがいしゃもいっぱいいると思うんです。そういうのはどうやって声が反映されていくとか、あと登録していない人の生活実態とかをどう解決していくのかと思うんですが、それはどのようにお考えですか。

【事務局（関）】 今考えているのは、事業所を通じてではなく、登録されていない方も意見をいただけるような、例えばさっき言ったイベントじゃないですけれども意見を聞く会のようなものでつくったりとか、さっきちょっと触れましたけれども、人によってはできる人とできない人もいらっしゃるかもしれませんが、インターネットを通じて、ウェブを通じたアンケート方式などもありますので、そういったところを様々活用させていただきたいと思っています。

先ほどありましたとおり、私ども行政ですよ。しょうがいしゃ支援課の窓口も活用していきたいと考えています。

【芳賀委員】 ありがとうございます。

【事務局（白川）】 あとは、まだ決めてはいないですけれども、ワーキングに本当にそのことに関心

のあるしょうがい当事者個人が参加するということも、もちろんあっていいこととおもっています。

【古旗委員】 重ねて質問で申し訳ないですが、先ほど松田さんがおっしゃっていた事務局の方の

御意見をというところで、みなもさんとか、なびいさんとか、その中でどんな立場で、どういった意見

とか、こういった課題があるんじゃないかとみたいなのを併せて伺いたいというのと、あと、自立

支援協議会は、市内の多くのしょうがいを持った方に影響を与える部分だと思うので、一般市民の方

にもこの会でこういった話合いが進んでるのかというような議事録とか、そういったものがホームペ

ージでアップされるような可能性があるのかというのも、併せてお伺いさせてもらいたいとおも

す。お願いします。

【事務局（関）】 みなもさんから、どうでしょうか。

【事務局（小池）】 相談支援センターみなもの小池と申します。皆さんのお答えと多々重なるところ

があるかと思うんですけども、そもそもの話、この協議会の主体はもちろん当事者及びその御家族

なわけで、いろいろまだ決まってははいんですよね。ここで承認をいただいていたらいんじゃない

いかという段階なので、別に決めつけて持ってきたわけではないんです。

先ほども出ましたけれども、そもそも自立支援協議会の設立に当たって4つのテーマを決めて、そ

れに向けて動いてきたんですけども、各地域そうですけども、そのテーマ以外にも、様々なたく

さんの小さな困り事とか、こうやってほしいという期待感とかが多く存在していて、テーマに沿った

部会を活動してきましたけれども、やっぱり全部を拾えていないよねということが話の発端だったん

です。

じむきょく われわれしえんしゃ じむきょくかいぎ なか かなら とうじしゃ ぬ
事務局をやっているのも、我々支援者だけなんですけれども、事務局会議の中でも必ず当事者は抜
かせないよねという意見はずっと出ていましたし、あくまで、しょうがいを持った方々を入れていこ
うという発言はあったんですね。全部をまだまだ補い切れていない、目を向けられていないところも
ありますし、しょうじき たいけいすあん かん
正直なところ、はっきりとした体系図案にもなっていないと感じられるのもごもっとも
だなおも
だなおもと思うところです。

じむきょくかいぎ なんかい かいさい ぎろん はくねつ
事務局会議も何回か開催したんですけれども、いろんな議論で白熱というか、あれもこれも、そも
きょうぎかい ほんらい やくわり ちいきかだい と く さまざまと く
そも協議会の本来の役割としては地域課題に取り組むだけじゃないし、ほかにも様々取り組んでいか
なきゃいけないことはあるんですけれども、まず、いろいろな地域、いろいろな個人からの悩み事とか
こま ごと ひろ きょうぎかい はなし はじ
困り事をもうちょっとダイレクトに拾っていきこうよ、それが協議会なんじゃないかという話から始ま
こじん こま ごと じつ くにたちし かだい もんだい ほんらい
り、個人の困り事から、実はこの国立市のそもそもの課題、問題なんじゃないかというところで、本来
きょうぎかい あ かた もと じつ まえ なんねん まえ いけん
の協議会の在り方に戻していかないかというのは、実はもうちょっと前、何年前からもう意見がず
で たいけいすあん かたち
っと出ていたんですね。それをどんどんやっていきこうというところで、こういった体系図案に形づく
ちいき きょうぎかい かたち さまざまかたち ちが すこ
られてきたのは、いろんなほかの地域の協議会の形、様々形が違うんですけれども、もう少しワー
キンググループというダイレクトに、わり じっこうりょく も じっし
キンググループというダイレクトに、割とフリーというか、実行力の持ったグループをつくって実施
ちいき さんこう くにたちし ちいきせい て
している地域もあるんですね。そういうのをいろいろ参考にしながら、国立市のカラー、地域性と照ら
あ さいしゅうてき あん で
し合わせて、ワーキンググループがいいんじゃないかという最終的な案が出たわけですよ。

さまざま ごいけん ぎもん ぜんたいかい ほんとう
それで、様々な御意見、疑問というか、全体会もそもそも、本当はコンスタントにできたらいいん
ですけれども、まずはちょっとやってみようというところから始まって、だんだんイメージ、実態が

わ 分かってくる、もう少し細かくやってくらうなと思っけていますし、この推進協議会というの
も、僕個人的にもどういふ連携を取るんですかと質問もさせてもらったりとかもしたんですけれども、
さまざままだ拾い切れていない問題があるなと正直思うところでは。

【事務局（鈴木）】 みなもの鈴木と申します。私も、今年度からこちらの相談支援事業所に配属に
なりまして、今年度からの参加になるんですけれども、最初のほうは、もうちょっとこの下のほうの
当事者、家族とかかというところは、もっといろいろなものがついていて、今は集約された形になって
いて、見た目だとそこからちょっと外れている感じには見えるんですけれども、決してそういう考え
じゃなくて、わかりやすさというところでぎゅっとまとめたという印象が会議に出ていてありまし
た。中には相談だけじゃなくて、例えば就労B型とかのそういう横のつながりとか、いろいろな事業者
さんの横のつながりとかも入れていきたいよねという意見があったんですけれども、もう幅が広くな
り過ぎちゃってわかりづらくなっちゃうからというので、わかりやすく4つにした経緯があったかな
というのを思い出しながら話しています。

大体皆さんが言っていた意見と同じで、最初は意見を集める受付窓口のところに、当事者部会を残そ
うよという話とか、そういうのも入っていたかなと思っけていて、議論を重ねる中で、やっぱり当事者
部会にかかる負担とかが多くなっちゃうというところでいろいろ意見を重ねていて、意見を集める
受付窓口という形になったという経緯があったかなと思っけています。

【事務局（関）】 ありがとうございます。なびいさんのほうから……。

【事務局（奥迫）】 Zoomなので発言するタイミングが難しくて、もうほかの事業所さんからも

だいたい い わたし おな りかい いま で
大体言っていたらいるのと私もおおむね同じ理解なんですけれども、今まで出なかったことで、

わたし こじんてき おも ちか じむきょくかいぎ なか
私が個人的に思っていることに近くなってしまおうんですけれども、事務局会議の中でもちょっとお

はなし じりつしえんきょうぎかい やくわり き じちたい
話をさせていただいたんですけれども、自立支援協議会はいろんな役割が決まっていますし、自治体

かた おも わたし ぶかい さいしよ
によってやり方はいろいろだとは思おうんですけれども、私はしごと部会に、最初からではないんです

かか よこ しえん
けれども、このところしばらく関わらせていただいて、やっぱり横のつながりというんですか、支援

きかんとし ぶかい はい とうじしゃ かた はじ で あ
機関同士もそうですし、あとはしごと部会に入っていたらいる当事者の方ともそこで初めて出会

かた よこ じりつ
ったという方もいらっしゃいましたし、横のつながり、ネットワークづくりというのが、この自立

しえんきょうぎかい くにたちし やくわり にな こじんてき おも
支援協議会が1つ国立市で役割として担えるといいのかなというふうに個人的には思っています。

しやくしょ かた まえ くにたちし おお し かお み かんけい
市役所の方がいる前であれですけれども、国立市はそんなに大きい市ではないので、顔の見える関係

ほんとう て の かんたん き ほ おも
も本当にちょっと手を伸ばせば簡単につくれる規模だと思っています。なので、それをもっとより

じゅうじつ そう あつ く
充実させていって、層を厚くしていって、いろんなところがいろんなところとネットワークを組みな

せいど しえん せいかつ あ かた いっしょ さんにんよ
がら、いろんないい制度とか、サービスとか、支援とか生活とか在り方をみんなで一緒に、三人寄れ

もんじゆ ち え にな にな ち え かんが じりつしえんきょう
ば文殊の知恵じゃなくて、100人いれば100人の知恵で考えていけるような、そんな自立支援協

ぎかい おも こじんてき いけん ぶく いじょう
議会にしていたらいいんじゃないかなと思っています。個人的な意見も含めていますが、異常です。

じむきょく よしかわ いま じむきょく じむきょく たちば はなし いいん たちば
【事務局(吉川)】 今、事務局からは事務局の立場で話があったんですけれども、委員としての立場

い ぶかい なか ぎろん ぎろん
からちょっと言いますと、部会をやっていく中で、議論をするのと、いろいろ議論して、ああしよう、

じっこう せんび
こうしようとなったものを実行してくるところがどこまでやったらいいのかという線引きがすごく

むずか ぶかい たいけん ていど じそう きどう の
難しかったんですね。しごと部会のしごと体験のもある程度もう自走で、軌道に乗ってきちゃったん

で、議論するということよりそれだけ単独で動かしていけばいいという、それは部会から話して新しい

議論を、何か課題をやるのか、それともそれを動かしてとところまで部会になるのかというところが、

すごくやっていて難しいところだったというのは、そんなのがちょっと実感としてあるので、なので、

逆にワーキンググループという形で、都度都度、要するに目的ごとにやってくというのはとてもい

いことだと思えます。

あと、結構課題がみんなそれぞれのところから上がってくるわけなんですけれども、部会のメンバ

ーが広過ぎて、みんなでまとめていこうとすると外していかなきゃいけない部分が出ちゃったり、10

個の課題があって、その中から1個に絞ってくような形、10個が10個別々にばっと動かしていけれ

ばそれはそれでよかったんでしょうけれども、なかなかそこまでいなくて、絞っていくと丸くなっ

てくという、そういう形があったので、ワーキンググループという形でやって都度都度というほう

が、正直、しごと部会も、ここまで来て次は何をやるかというところで大分もう行き詰まっていた

というか、次に何をやるかという状況もあったので、こういう形がいいのかなとは思っています。

あと、ちょっと個人的な意見としては、今皆さんの意見を伺っていたところでは、ワーキンググル

ープが事務局にひもづいているような図になっていますけれども、実際のところは、やっぱり全体会の

当事者が入ったところに、この図ではついていないけれども、当然ながら関わってくると思うので、

当事者の方の意見を反映するというところだと、図の描き方の問題かもしれないですけども、ワー

キンググループが全体会とひもづいていけば、そこで当事者の方の意見も反映されていくような形に

なるのではないかとおもいました。

【事務局（関）】 ありがとうございます。あともう1つ、今、古旗委員からあったように、議事録等

の公開の事です。まだ、できていないところがありますけれども、そこはぜひ市民に、国立市でこ
ういう形でこういう活動をしているということが、プロセスも含めて分かるようなところを、私ど
もを中心に考えてまいりたいと考えているところでございます。

【事務局（篠原）】 今のしごと部会さんの課題はとても分かります。しごと部会で進めてきたけれど

も、しごと部会でやっていることを次へ進めないといけないと思うんですよね。しごと部会さんがや
ってきたことを、どこが担うのが一番いいのかというところを考えなければいけないと思うんです。

そこを一生懸命に提案してきても、今までは全体会として決定がなされなかったところだと思っ

すね。全体会で決定したことに関しては市は動くよと言ってくれば、私たちは安心というか、大船
に乗ったような気持ちでいられるんですけども、本当にいろいろ言いたいことはたくさんあるんで
す。

今後ワーキンググループができて、ワーキンググループが一生懸命考えて提案してきたことを

実現していかないと解決型に向けてとはならないと思うんですね。なので、全体会のメンバーの方

ちにお願いしたいのは、上がってきたものはしっかりと実現していくんだということを思っていた

きたいし、市もそれに沿って、支援課も動いてくださると思っただきたいと思います。やはり

全体会で決定していただかないと、その先に動けないと思うんです。

【松田委員】 時間が押していて申し訳ないですけども、今の篠原さんのお話を伺っていて、ま

ず全体会の機能というか、この会議の機能の問題だと思うんですね。要綱を見ていただくと、協議を

する、全部協議をする。啓発とか入っていますけれども。当初、さっき奥迫さんがおっしゃっていたように、この会議はそういう情報共有とか、市内の横のつながりを、仲よくしながらつくりますよという趣旨でつくっていた。それはそれで、私ももちろん、もともと行政の人間なので責任も感じますし、それはそれで、その当時のベストは尽くしたつもりです。ただ、時とともに役割が変わってきたり、やはりもっと課題解決型に向けたというのは当然だと思うんですね。

ただ、この間の全体会の機能としてそういう承認を求められていたかということ、恐らく逆に言うとは否決したことはないと思います。報告があって、そうですねということですと来ていたと思うんですね。やはりその機能の、ちょっとそこで戻ってしまうんですけれども、どういうふう to 実現していくか。予算がすぐつかないのは私も行政の人間なので当然分かります。そういう問題ではないと思うんですが、ただ、そこに出たものを、どういうふう to さらに議論の俎上に上げていくかというところのシステムが、そもそもこの会議にないんですね。

ですから、それをそのままいくという、先ほどの奥迫さんのような形であれば、私は別にそういう形で皆さんがいいということであればいいと思います。ただ、ここに課題解決型へ向けてと書いてあるので、もしそれをやるのであれば、そのことをクリアしないと、論理的に問題は多分解決しないと思うんですよ。なので、行政の皆さんはちょっとやりづらいと思うんですけれども、私ももとそういうふうなつもりで議論へ参加していましたし、だからちょっとずれがあるのかもしれないですね。

そこを解決しないと、言った、承認してくれたんで、終わってまた1年後みたいなことになるわ

けですよ。^{ひょうか}評価もありませんし。^{へん}その辺のところは、それでいいということであればいいんですけども、^{わたし}私はどうしてもちょっとひっかかるので、^{いま}今の^{しのはら}篠原さんのお話^{はなし}を聞いて、^{おも}なお思いは強く持ちました。^{おも}いかがでしょうか。

【事務局(関)】^{じむきょく} 全体会^{ぜんたいかい}の機能^{きのう}を、^{いま}今^{いけん}みたいな意見^いを入れてちょっと^{かんが}考えさせていただければと思ひます。^い意思決定^{いしけつてい}の明確化^{めいかくか}みたいなところ、^{かんが}そこをもうちょっといただくようなところを^{かんが}考えていきたいと思ひます。^{おも}と思うんですけども。

【松田委員】^{まつだいいん} その方法^{ほうほう}を例えば^{たと}要綱^{ようこう}に書き込む^かとか^こそういう意味^い合^あいですか。

【事務局(関)】^{じむきょく} ^{せき}そこも含^{ふく}めてです。^{せいどてき}制度的に^{せいどてき}どういったもの^{せいどてき}ができるのか、^{かんが}ちょっと考えさせていただければと思ひます。

【事務局(関)】^{じむきょく} ^{せき}時間も^{じかん}ちょっと押^おしてしま^{もう}して申^{わけ}し訳^{わけ}ありません。^い言^{のこ}い残^{ふぶん}した部分^{もう}は申^{わけ}し訳^{わけ}ないんですけども、

【事務局(関)】^{あと}後^{じむきょく}から事務局^{しゅうやく}にそれぞれ^{しゅうやく}いただいたもの^{じむきょく}を集^{じむきょく}約^{かいぎ}して、^{あと}また事務局^{かいぎ}会議^{かいぎ}のほう^{かいぎ}でま^{かいぎ}とめ^{かいぎ}させていただければと思ひます。

【事務局(関)】^{ほりえんせい} 堀江先生^{いまざろん}のほう^{こうひょう}で、今^{こうひょう}議論^{こうひょう}いただ^{こうひょう}いて^{こうひょう}講^{せいご}評^{ほりえんせい}ではない^{せいご}んですけども、^{せいご}最後^{せいご}に堀江先生^{せいご}のほう^{せいご}から

【事務局(関)】^{こいけん} ら^{こいけん}ちょっと御^{おも}意見^{おも}いただければと思ひますが、^{おも}いかがでしょうか。

【堀江委員】^{ほりえいん} どうも^{わたし}ありがとう^{じりつしえんきょうぎかい}ございました。^{けいけん}私^{すく}のほう^{すく}がまだ^{すく}自立^{すく}支援^{すく}協議^{すく}会^{すく}での^{すく}経験^{すく}が^{すく}少ない^{すく}ので、^{すく}皆^{すく}さんの^{すく}今^{すく}の^{すく}経験^{すく}を^{すく}伺^{すく}いながら、^{すく}うま^{すく}く^{すく}い^{すく}て^{すく}いる^{すく}と^{すく}こ^{すく}う^{すく}ま^{すく}く^{すく}い^{すく}て^{すく}い^{すく}ない^{すく}と^{すく}こ^{すく}ろ^{すく}が^{すく}具^{すく}体的^{すく}に^{すく}想^{すく}像^{すく}する^{すく}こ^{すく}と^{すく}が^{すく}で^{すく}き^{すく}ま^{すく}し^{すく}た^{すく}。

【事務局(関)】^{たぶん} 多^{ちゅうしやうてき}分^{ぎろん}、^{おお}抽^{おお}象^{おお}的^{おお}な^{おお}議^{おお}論^{おお}が^{おお}多^{おお}い^{おお}ので、^{わたし}私^{ふく}も^{ふく}含^{ふく}めて^{ふく}です^{ふく}け^{ふく}れ^{ふく}ど^{ふく}も、^{みな}な^{おも}か^{おも}な^{おも}か^{おも}そ^{おも}の^{おも}皆^{おも}さん^{おも}が^{おも}思^{おも}っ^{おも}て^{おも}い^{おも}る^{おも}こ

とがシェアしにくいなのというのが、^{はなし き おも}話を聞いていて思いました。すぐく^{もんだいかいけつ}問題解決のことだから、

^{ちゅうしょうてき おお たと いま ぶかい ぶかい けんどう し}抽象的なことが多かった。例えば今までしごと部会や、いろんな部会で検討していたけれども、市の

^{はんえい いちじれい そうげい すく たい ぎろん も}ほうに反映できなかった一事例みたいなものを、さっき送迎が少ないことに対して議論も持ったけれ

ども、それが市のほうに反映されなかった。じゃ、市のほうが反映できるとなったらどういうチャン

^しネルがあればいいのかと、もう少し^{すこ ぐたいてき}具体的なシミュレーションを持って議論したほうが、^{も ぎろん みな みちすじ}皆さん道筋な

^{かくにん おも}どが確認できやすいのかなと思いました。

^{し わたし じぜん せつめい ぐたいてき なが そうてい}市のほうから私も事前に説明はいただいたんですけども、具体的な流れがちょっと想定できな

ったので、これからつくっていくものなんだろうなと思って見ていました。なので、^{ぐたいてき}具体的にやれる

こととやれないことのシミュレーションができるような議論も中にあると分かりやすかったかなと思

いました。

でも、これからリアルな事例について皆さん方で^{じれい みな かた かんが}考えていくということについては、とても大事な

^{きかい わたし きかい さんか おも き きたい}機会なので、私も機会があれば参加させていただきたいなと思って聞いていました。期待しています。

^{ほんとう}本当にどうもありがとうございました。

^{じむきょく せき きょう みなさま いけん}【事務局（関）】 ありがとうございます。そうしましたら、今日、皆様からこういった意見いただき

^{ついか ぶぶん はんえい かたち し じむきょく}ましたので、追加の部分もありましたので、そこを反映できるような形を、市だけではなくて、事務局

^{かいぎ なか みなお あん けんどう たと いちどみな きょう}会議の中でも見直し案を検討してきたところもございますので、例えばそこをもう一度皆さんの今日

^{いけん はんえい うえ つぎ すす かたち と おも}いただいた意見を反映させた上で次に進めるような形を取らせていただきたいと思います。

^{なか ぜんたいかい がつ あら へんこう}その中では、全体会を10月としていますけれども、新たなスケジュールの変更があれば、そこは

また改めて皆様の方と調整をさせていただければと思いますので、また個別にお声かけをさせていただければと思います。

【事務局（市川）】 来年度は、これで始まるんですか、始まらないんですか。

【事務局（関）】 これを始めさせていただければと、市のほうは今考えています。

【古旗委員】 大事なポイントだと思うんですけども、それはそれで。今後の事務局機能の事務局としての話合いの内容でとても大事なことになると思うんですけども、その部分の話の経過とか、そういったものの議事録の公開とかというのも併せて検討してもらえたらと。とても大変な話合いをずっとされていると思うんですが。

【事務局（関）】 分かりました。公開については考えてまいりたいと思います。

今日、御意見をいただきましたので、このたたき台の意見、御提案いただいた部分の反映もごさいますので、ちょっと反映については1度市のほうで考えさせていただければと思います。

令和5年度からはこれをやりたいと思っておりますので……。

【事務局（市川）】 令和5年度はこれで開始するんですか、しないんですか。そういうことをここで決めるんじゃないかと、僕は思っているんですけども。

【事務局（白川）】 そういことです。

【事務局（関）】 事務局としては、いただいたことで、令和5年度からはこの形にしたいと思えますけれども、この形の仕組みでやらせていただきたいと考えております。

【事務局（市川）】 ということは、例えば令和5年の5月に、もう1回集まって、今日の意見を集約

して、改定したもので承認というのか分からないけれども、それで進むのか、その辺りはどうい
話
の整理になっているのか。

【事務局（白川）】 私も同じことを今、ここで今せっかく篠原さんが言っていて、全体会で結論
を出すんだ、一つ一つ決定していくんだ、そしてしっかり進めるんだということを今ここからやるんだ
としたら、今回提案したこの案について、全体会としてこの案自体を基に進めていくというスケジ
ュールでというのを、承認します、そうしましょうというのを、事務局としてやってきますというよう
な言い方ではなく、ここの結論決定としたいと思います。

【事務局（鈴木）】 でも、やっぱり予算を持っているのは市だから、1回、市に偉い方とちゃんと考
えてアイデアを出して実現していかなければいけないので、やっぱり予算も考えないながら提案しな
きゃいけないし、私たちの部会の場合は堀江先生に、お金がないということがだんだん分かってきて、
それで人づてにこういう研究している人がいるよとあって、堀江先生に相談して予算を組んでもらっ
てということで、やっぱり実現するためにどうするかと動いている人たちもいるわけですよ。

しごと部会がしていないというわけでも全くないし、全然できていると思うんですよ。それは本当
に第一歩のわけであって、第二歩、第三歩行くのに対して予算がつくつかつかないかというのは、やっ
ぱり市の部分の意見は大きいと思うので、この事務局会議のメンバーのことに 대해서는いろいろ意見
がこうやって上がるということは、やっぱり少し問題があるから意見が上がっているような気がする
ので、それを市役所の方々に考えて、また結局この今の決定になるかもしれないですけども、1
回持ち帰ってもらって、5月でよろしいんじゃないですか。

【事務局（関）】 わ 分かりました。きょう こいけん わたし し いちども 今日、御意見をいただきましたので、私ども市のほうでもう一度持

ち帰らせていただいて、それを反映させたものを改めて御提案させていただく機会をつくらせていた
だければと思います。

【松田委員】 まつだいいん ちよっといいですか。かいぎじたい はや おも いま この会議自体、早くやめたほうが良いと思いますけれども、今お

ふたり はな しのはら ふく き われわれ ちと 二人からお話しいただいた、篠原さんも含めてですけれども、ここで決めるということ、我々は求め

られているかどうかをちゃんと事務局としておっしゃっていただいたほうが良いと思います。そうし

ないとみんな混乱します。であれば、ここで1度事務局にお返ししますというのか、このままいきま

しょうというのか、いやこれは駄目ですよというのか、その機能も特に求められていないのであれば、

じょうほうきょうゆう お はなし おも 情報共有で終わりますという話だと思っんですね。

ですから、かいぎ なに し もと どうしょ か ですから、この会議に何を市として求めているのか、当初のものでいくのか、これから変えていく

のかというところをせいり いた ちよっとどこに着地点を持っていったほうが、今ちよっとどこに着地点を持っていったほうが、多分

みな わ き あいだ と いけん 皆さん分かりづらくなっているような気がするので、ちよっとすみません、間を取って意見をしまし

た。

【事務局（関）】 じむきょく せき わ も かえ ぶぶん も かえ 分かりました。持ち帰らせていただく部分がありますので、そこを持ち帰らせてい

ただいて、はんえい あらた みなさま こけつてい あらた かんが だいて、そこを反映させたものを改めて皆様に御決定いただくようなところを、改めて考えたい

おも かたち と思います。という形になります。よろしいでしょうか。

きょう いけん ふ はんえい れいわ ねんど がつ おも 今日いただいた意見を踏まえて反映させたものを、令和5年度4月からやっいていこうかと思っ

たんですけれども、いま はんえい せつめい ぶぶん こいけん たんですけれども、今そこをきちんと反映して説明する部分をつくったほうが良いという御意見をい

ただきましたので、それができそうな形を今日は取らせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【事務局（白川）】 分からないんですけども、堀江先生が委員長である。だから、それを受けて堀江先生が最後全体会に確認して、結論を出して終わりというところでどうでしょうか。

【事務局（関）】 堀江先生、いかがでしょうか。

【堀江委員】 ありがとうございます。ただ、国立市の位置づけというのはほかの市と違うんですね。私のほうに最終的な権限があるのかどうかということなんですけれども、国立市は規定上、多分、ないですよ。私は何のためにここに居るかということが、実は曖昧なことが去年分かったぐらいなんです。権限は市にあるのが国立市の自立支援協議会だということは確認したので、今、御意見をいただいて、私が採配をふるうということだったら喜んでくれるんですけども、そういう権限ではないのでしたよね。

【事務局（関）】 今回の事務局が最終的な制度自体は市が持っているところになりますので、最終的に決定する部分は市にあるといったところになります。ですので、そういう意味では、先生のほうで決めるというようなことはなかなか難しいところがございますので、今言ったように、ちょっと整理させていただく部分も今日は皆さんから御意見いただいて出てまいりましたので、そこを整理させていただきます。また改めての提案をちょっと考えさせていただければと思います。

【芳賀委員】 当事者なんですけれども、当事者が制度とかお金とか予算とか言われても、自分には全く分からなくて、しょうがいしゃの生活がよくなればいいんじゃないかという、取りあえずやって

みて駄目だったら変えていけばいいんじゃないかと思うんですけども、どうでしょうか。

【事務局（関）】 ありがとうございます。まず、進めるところを今日は御意見いただいたので、ちょっと見直したものをまた考えて皆様にきちんと御提案を、今日のところはさせていただければと思います。

中途半端な形になってしまって申し訳ないんですけども、ただ、皆さんに初めて御提案させていただいて、改めて御意見をいただきましたので、そこを反映させるような形でまた確認の御提案をさせていただいて、そのときに、今後このような形で進めていくというしっかりした御提案を、また改めてさせていただければと思いますので、またそここのところの開催については私どものほうで調整させていただければと思います。

このような形になりますけれども、よろしいでしょうか。

時間も過ぎておりますので、今日の全体会についてはこちらで終了させていただきます。参加いただきました皆様ありがとうございました。堀江先生、遠いところから遅い時間になりましたが、ありがとうございました。

本日はありがとうございました。